

5月25日（月）～29日（金）

準備登校が始まりました



ソーシャルディスタンスをとって並び、健康チェックです。

学校再開の第一段階「準備登校」が始まりました。25日（月）と28日（木）には、風組の生徒と、出席番号奇数の生徒が参加します。26日（火）と29日（金）には光組の生徒と、出席番号奇数の生徒が参加します。昨年度も合わすと、約三ヶ月間の大きなブランク。少しずつ学校生活に戻そうという準備登校です。

校舎前（28日と29日には、学年で入り口を分けて密を避けます。）で学年の職員が

笑顔で出迎え、健康状態をチェックします。校舎内に入ると、用意された消毒液で手を殺菌します。水道前やトイレの入り口には、ソーシャルディスタンスを明確にしたテープが貼られています。各教室は縦に横にもお隣さんがおらず、適度な距離が保てています。



消毒してから校内に入ります。

25日と26日には、2時間の授業で、感染防止のための変更点や配慮点についての話を聞いたり、心のアンケートに回答をしたりしました。



どの生徒もやや緊張した様子で、表情がかたかったようでした。しかし、アンケートの回答を話題に個人懇談を行ってからは、表情がぐっと和らぎました。

下校時には、いつもの笑顔がもどり、手を振って元気に別れて帰宅の

途につきました。

初日の25日には、生徒たちの様子確かめようと、水野市長、山田教育長を初めとして5名の来校者がありました。生徒たちの登校や学級での様子をご覧になり、安心して公務にもどられました。

第二段階の「準備登校」である28日と29日には、教科の授業が再開しました。

授業は令和元年度の未履修部分を扱い、どの生徒も時間を無駄にしないようにしようと、真剣に取り組んでいました。

しかし、学級がスタートしたばかり。新しい仲間、新しい職員との人間関係が生まれたばかりであるため、生徒たちは緊張の連続だったようです。



そんな中で、意欲的にノートをとったり、積極的に発言したりする姿があり、休校があっても生徒たちの学習に対する意識は決して低くなっていないとわかりました。

6月からは「分散登校」に移行します。授業も生活の感覚を少しずつ取り戻すための取り組みです。そして、第2週の8日からは、一斉登校と給食が始まります。日常の本格的なスタートです。

休校で失った時間は取り戻せませんが、残りの時間で今年度の学校生活を充実させていきましょう。